

# 緑化センター

# みにがいど No.27

## ニオイヒバ

植物の中にはその植物特有の強い香りを持っているものがありますが、このニオイヒバもそのような植物のひとつです。

この樹の葉をもむと甘い香りがしますが、レモンの香りともパイナップルの香りとも表現されます。アイスクリームの香りだと表現した子供もいました。

緑化センターには芳香樹見本園等にありますので、この香りをあなたの言葉で表現してみてください。



## ニオイヒバ ヒノキ科

アメリカ東北部からカナダ東南部に分布する常緑高木で、現地では高さ20m直径1.5mにもなる。樹形は細円錐形になり、葉は鱗片状でヒノキのように平らになる。

フィトンチッド成分を多く含み、特有の香りがある。

庭園樹として広く植えられているが、低木性の園芸品種がつくられており、黄金葉のヨーロッパ・ゴールド、冬に褐色に変わるラインゴールド等がある。

ヨーロッパに1550年にもたらされ、ヨーロッパに入った最初のアメリカ産樹木とされる。

15世紀初めにアメリカに渡ったフランスの探検隊の隊員が壊血症にかかった際、ニオイヒバの枝葉の煎汁を飲んで元気になり、フランスの王がアルボルピタエ（生命の木）の名を与えたと伝えられる。（朝日百科世界の植物）

日本には明治中期に伝えられた。

コーヒーで一息入れませんか  
緑化センター レストハウス